

2015年5月12日

松戸市長 本郷谷健次 様

日本共産党千葉県議会議員 みわ由美
日本共産党松戸市議団
日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会

「自衛官募集」の懸垂幕の撤去を求める申し入れ

政府は今国会で、自衛隊が海外で武力行使をできるようにする法案を成立させようとしています。この法案は、これまでできないとしてきた、日本が武力攻撃を受けていなくとも、アメリカ軍などとともに海外で武力行使を可能にするもので、憲法9条を真っ向から蹂躪するものです。こうした危険な法案に対して、新聞各社の世論調査でも、今国会での拙速な成立に反対する世論が多数を占めています。

こうした時期に、国からの受託事務と言えども、「自衛官募集」の懸垂幕の掲示という、義務のない行為にまで及ぶことは、海外での武力行使に、松戸市が青年を送り込むことに積極的な姿勢をしめすことに他なりません。

松戸市の「世界平和都市宣言」では、「松戸市は日本国憲法の基本理念である平和精神にのっとり、平和の維持に努め」としています。松戸市が今なすべきことは、日本国憲法の基本理念および松戸市の「世界平和都市宣言」にのっとり、政府に対して、自衛隊が海外で武力行使をできるようにする法案提出をやめよという意思表示をすることです。

以上の趣旨から、庁舎に掲示した「自衛官募集」の懸垂幕の撤去を強く求め、申し入れるものです。